

近鉄山田川駅周辺地区バリアフリー基本構想 概要版

4

1. 地区の現状

■ 近鉄山田川駅

近鉄山田川駅は、2面2線のホームを持つ地上駅で、駅西側の2番ホームに駅舎があり、反対側の1番ホームへは構内踏切を利用して渡る構造となっています。

■ 主な生活関連施設

近鉄山田川駅周辺地区には、木津川市内のアル・プラザ木津店、ウエルシア木津川山田川駅前店や、精華町内の駅前には山田荘郵便局や下里医院、喜田歯科が立地しています。

このほか、教育施設としては、駅北側に府立南山城支援学校、駅からは距離が離れますが、精華南中学校、山田荘小学校が立地しています。また、木津川市内には同志社国際学院初等部が立地しています。

■ 地区内における主な課題

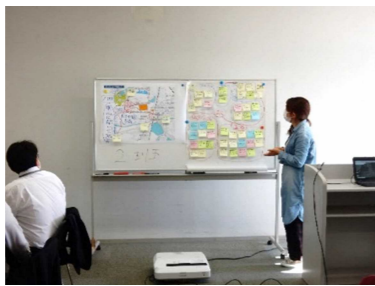
課題を把握するため、タウンウォッチングを午前の部と午後の部に分かれて実施し、鉄道駅や道路などで問題箇所や改善箇所がないかのチェックを行いました。さらに、ワークショップにおいて各班で意見交換を行いながら、駅舎や道路等の問題点や課題を抽出しました。

【タウンウォッチング概要】

実施日：令和2年11月19日（木）

9:30～12:00 13:30～16:00

参加者：25名（精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想連絡調整協議会、地域住民、障害者の方、その他関係者、事務局等）



＜タウンウォッチング調査結果の概要＞

■ 道路

【駅前広場前交差点】

- 交通量が多く、歩くのが怖い。交差点の見通しが悪い（アル・プラザ南側）。
- 交差点の滞留スペースが狭く急こう配である。
- 南西信号間の点字ブロックがない。

【駅前広場前交差点の信号状況】

- 音響式信号機は、どの方向が鳴っているのかわからない。

【八幡木津線の歩道】

- U字形のバリアが多すぎて邪魔。
- 歩道の高さがそろっていない。傾斜が多く、でこぼこも多い。
- 横断歩道手前にだけしか点字ブロックがない。
- 歩道の柵がもう少し欲しい（アル・プラザ付近）
- 歩道のグレーチング（溝）の穴大きい。
- 道路上の植栽により、幅員が狭くなっている。

【八幡木津線の道路標示】

- 横断歩道が消えかけている。
- 歩道から横断歩道への高低差が大きい。
- 横断歩道にマンホールがあり、段が付き、すべる。
- 横断歩道のグレーチングの隙間が広く、白杖が入る。

【郵便局付近】

- 郵便局南側の道路に歩道がない。
- 信号手前の歩道の傾斜が急で危ない。
- 信号は音響式信号機でない。

【踏切付近】

- 踏切に歩道が欲しい。
- 踏切のたまりがない。
- 踏切を渡る道がとて狭く、危険を感じる。

【その他】

- アル・プラザの入口が音でわかるようにするとよい。
- 公衆トイレは、駅構内にしかない。
- 外国語の案内板がない。

■ 近鉄山田川駅

◆ホームの安全性

【ホームの構造等】

- ホーム幅が狭く、傾斜もきつい。ホーム上の鉄柱が危ない。
- 舗装に陥没や波打っている箇所があり危ない。
- 奈良方面ホームの線路側の転落防止柵が低い。

【案内誘導】

- 点字ブロック、クランクがわかりにくい。点字ブロックに内方線がない。自販機への点字ブロックによる誘導がない。
- 待合室への誘導がない。

【その他の設備等】

- ホームのイスの方向を変えれば安全になる。
- 駅、待合室に防犯カメラが欲しい。
- 非常通報ボタンの位置が高く、車いす等では押しにくい。
- 自販機のコイン投入口が高く車いすでは使いにくい（京都行ホーム）。

◆構内移動ルート

【スロープ】

- 傾斜がきつく車いすの移動が困難。
- 舗装が悪い。手すりが無い。
- 構内のすべり止めが、とぎれとぎれになっている。

【構内踏切】

- ベビーカーや車いすは、脱輪しそうで危険。
- プザーのみで音声案内がない。電光掲示も欲しい。
- 電車の通過・到着が目で見えるようにしてほしい。

【その他】

- 多言語表記ほとんどなし。
- 運行情報、多言語の案内、下すぎて見えづらい。

◆トイレ

- トイレが京都行ホームにしかない。
- 多機能トイレがない。おむつ交換スペースがない。トイレが狭い。水道も手狭。子供載せイスが欲しい。
- 男子トイレが和式のため身体的ハンディのある人は使いにくい。
- トイレ内に点字ブロックがない。
- 「ここはトイレです」の音声がない。

◆改札口（券売機など）

- きっぷうりば窓口やインターホンまで点字ブロックが繋がっていない。
- 券売機の高さが高く、車いすでは切符を買いにくい。
- 切符の画面が見えない。券売機に点字の説明が少ない。
- 乗り越し精算機も車いすでは使用しにくい。
- 改札、ひらがなの運賃表の文字が小さい。
- 駅の東側にも改札口が欲しい。

■ 駅前広場

◆点字ブロック

- バス停まで点字ブロックが一部ないところがある。
- 点字ブロックがアル・プラザまで続いている。
- 点字ブロックが色あせしており、弱視の人には見づらく危険。
- 点字ブロックが一部曲がっていてわかりにくい。
- ホームと駅前広場の点字ブロックの提示サインが異なる。

◆段差等

- 歩道のいたるところに小さな段差がある。

■ まちのキャッチフレーズ提案

- 思いやり、あたたかさ。安心して暮らせる。利用しやすい、優しい。にぎやかな、つながる施設
- 東西に開いた駅前、交流。ひらけた街。にぎやかな駅前。暮らしやすい街
- 安心な安全な、移動しやすい、わかりやすいまち
- 未来にひらけたコンパクトで便利なまち

- 1 -

- 2 -

2. 重点整備地区の設定とバリアフリー化事業計画

重点整備地区の設定

近鉄山田川駅周辺地区の重点整備地区の境界を設定しました。
 なお、重点整備地区内には、木津川市域も含まれています。

＜ソフト施策（心のバリアフリーの推進）によるバリアフリー化への取り組み＞

- 小学校でのバリアフリー教室の実施。
- 広く一般にバリアフリー化状況を周知するためのバリアフリーマップの作成、施設管理者によるバリアフリー情報の提供。
- 放置自転車対策や安全な歩行空間を阻害する行為等に対するマナーの向上の啓発・広報活動、および、放置自転車の撤去や取締りの実施。
- 通路幅員の確保、段差の解消、点字ブロックの設置などによる工事中のバリアフリーの実施。

バリアフリー化事業計画について

近鉄山田川駅周辺地区におけるバリアフリー化を推進するため、タウンウォッチング等から得られたバリアフリー上の問題点を踏まえ、各施設の管理者が今後実施していくバリアフリー化事業計画の概要を定めます。

整備目標年度は、令和3～令和6年度を短期、令和7年度以降を中長期として、関係機関等と連携しながら計画的にバリアフリー化事業に取り組みます。

R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
← 短期 →				← 中長期 →					

